

○山城北地域保健医療計画の進捗状況について

事項	対策の方向	取組状況(平成28年度まで)	備考
在宅医療の推進	在宅主治医紹介システムの導入	・平成26年2月から宇治久世医師会で実施(実績3事例)	
	主治医・副主治医制の検討	・平成25年4月から宇治久世医師会で試験実施(実績3ユニット)	
	病院の短期ベッド受入システムの構築	・在宅医と病院の個別対応	
	在宅医療研修プログラムの検討	・府医師会において、実施	
	地域連携クリティカルパスの活用推進	・6病院で導入(実績:京都岡本記念、京都きづ川、田辺中央、宇治徳洲会、宇治武田、京都八幡)	
	在宅医療情報共有システムの構築	・「たんぽぽ手帳」の活用 ・京都府看護協会「情報共有シート」の作成 ・宇治久世医師会2015年版医療・介護資源リスト「在宅医療セーフティネット」の作成 ・平成28年度から府医師会「京・あんしんシステム」施行 ・平成29年から宇治久世医師会「病診連携・あんしんカードシステム」導入	
	在宅医療支援チームの設立	・平成26年度から宇治久世医師会「医療介護連携推進プロジェクト」実施	
がん対策の充実	がん予防・早期発見に関する正しい知識の普及・啓発	・宇治市の健康イベントで健診受診啓発セミナー(平成28年11月う～茶んフェスタ)を実施	
	・事業所への「がん対策セミナー」「健康出前講座」の実施	・毎年、希望事業所、団体等で実施(平成28年度実績:2事業所、4団体)	
	・「やましろ健康事業所」認定制度の普及	・平成25年度から管内認定事業を実施(実績:9事業所)	平成27年度以降は府事業で認定
	地域連携クリティカルパスの活用推進	・6病院で導入(実績:京都岡本記念、京都きづ川、田辺中央、宇治徳洲会、宇治武田、京都八幡)	
	在宅医療の充実・強化 ・在宅医療の充実・強化により入院期間の短縮化を図る	・平成26年度から宇治久世医師会が「医療介護連携推進プロジェクト」を実施 ・平成27年度から京都府看護協会「在宅療養地域推進会議」開催	
がんに対する事業主への啓発の推進	・「がん検診ハンドブック」を各事業所に配布		

事項	対策の方向	取組状況(平成28年度まで)	備考
脳卒中・急性心筋梗塞	疾病予防にむけての知識の普及・啓発	・生活習慣病予防の1つとして、各市町で出前講座を含む健康教育で知識の普及・啓発を実施	
	地域連携クリティカルパスの活用推進	・6病院で導入(実績:京都岡本記念、京都きづ川、田辺中央、宇治徳洲会、宇治武田、京都八幡)	
	病期に応じたリハビリ体制の推進 ・地域リハビリテーションセンターと連携したリハビリ提供施設に対する研修等の実施	・平成28年度研修会等を実施(実績 研修会5回、関係機関意見交換会 2回、連絡会議 1回)	
	在宅主治医紹介システムの導入(再掲)	・平成26年2月から宇治久世医師会で実施(実績3事例)	
	在宅医療支援チームの設立(再掲)	・平成26年度から宇治久世医師会「医療介護連携推進プロジェクト」実施	
糖尿病	疾病予防にむけての知識の普及・啓発	・生活習慣病予防の1つとして、各市町で出前講座を含む健康教育で知識の普及・啓発を実施	
	圏域内医療機関等の医療機能に関する情報提供	・京都健康医療よろずネット等により診療情報を提供	
精神疾患	精神疾患患者のヘルパー養成研修の実施	・京都府社会福祉協議会に要請中	
	病院と連携して社会復帰に向けた訓練・研修の実施	・宇治おうばく病院でハローワークと連携し、研修・訓練を実施	平成29年度洛南病院で実施予定
	グループホームの増設に向けた環境整備	・グループホームの整備状況(実績:平成25年4月定員206名→平成28年12月317人(111名増))	
	事業所等におけるメンタルヘルスケア対策など啓発活動	・障害者の雇用、訓練受け入れ企業や自治会等に啓発を実施 ・宇治市、城陽市福祉まつりで啓発、心の相談を実施(実績:平成28年11月) ・学校で生徒に疾病予防教育を実施(実績:平成28年6月 大学生、短期大学生、平成29年2月 宇治市内中学、高校2箇所)	
	認知症の高齢者とその家族が地域で安心して生活の継続ができるよう身近に相談できる窓口の強化とネットワーク化への支援	・高齢者の相談窓口である地域包括支援センターと認知症疾患医療センター(洛南病院、宇治おうばく病院)との連絡協議会の定期開催など連携強化	洛南病院:年6回(奇数月第3金曜)、宇治おうばく病院:年2回(10月、3月)
	認知症疾患医療センターを中心に医療関係機関の連携体制を強化	・センター設置の2病院(洛南病院、宇治おうばく病院)にて、連携体制を強化	

事項	対策の方向	取組状況(平成28年度まで)	備 考
小児 医療 周産 期医 療	小児の在宅療養支援体制の充実	・平成27年度から「山城北圏域在宅療養児・者の地域生活支援ネットワーク会議」を自立支援協議会医療的ケア部会として開催、連携体制を構築	
	小児の予防接種について、正しい知識の普及を推進	・市町開催の予防接種連絡会議に出席	
	小児救急電話相談(#8000)の一層の普及や講習会実施による子どもの病気に対する保護者の不安解消	・毎年「小児救急医療講座」開催	
	休日及び平日夜間の小児救急輪番制を継続、維持	・3病院(宇治徳洲会病院、田辺中央病院、男山病院)にて輪番制継続	
救急 医療 災害 時医 療へ き地 医療	救急車の適正利用のため、不要不急な症状の方の利用削減のための啓発	・宇治市、城陽市、久御山町、宇治田原町において実施	
	地震、大雨などの災害時を想定した訓練の実施	・毎年、山城北災害医療連携協議会訓練を実施(実績:平成28年11月「南海トラフを想定したシミュレーション訓練」)	平成29年11月23日地震災害を想定した実地訓練(京田辺市)
	市町と連携した要配慮者の把握及び情報共有化の推進	・管内各市町と災害時要配慮者対応等について聞き取り調査実施 ・難病患者の災害発生時対応研修会の開催 ・難病患者の要配慮者リスト作成	
	山城北医療圏における災害医療連携協議組織の設立	平成26年2月に山城北災害医療連携協議会(30機関)を設立	